

堺市産学共同研究開発支援補助金を活用した、これまでの成功事例をご紹介します。

Interview

株式会社 コスモマテリアル

ナノテクと光触媒で、東京工大や大阪府大と産学連携

当社は、主に都市ガス会社向けの新材料の開発・製造業務を行っています。2005年1月に念願の起業を果たし、同年10月には、「中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち事業化支援事業」(独)中小企業基盤整備機構)に選定されるなど、恵まれたスタートを切ることができ、順調に推移しています。

私は大学で有機化学の研究をして、将来は大学で教鞭をとろうとも思いましたが、起業に興味があり、バブルで活況を呈していることもあって、企業に就職する道を選びました。在職中には専門の有機合成に関わり、現場に近いところで仕事の面白さを知りました。再就職先の技術系シンクタンク(大阪ガス(株)系)に数年在籍し、様々な研究成果や経験、多彩な人脈をバックに夢を実現すべく起業したわけです。

当社と産学連携は切り離すことはできません。東京工業大学とのナノ粒子配合型ポリマーの基礎研究成果は、既に、京葉ガス(株)との共同開発で、世界初のガス管専用水性防錆塗料「美管」として販売されています。ガス管専用水性防錆塗料「美管」は、VOC規制に対応した環境対応型塗料であり、地球温暖化対策にも貢献しております。ナノ(10億分の1)メートルレベルの超微細粒子がガス管の表面に付着し、発錆を防ぎます。現在、全国の都市ガス事業者を対象に販売活動を展開しています。

さらに、大阪府立大学大学院(工学研究科応用化学分野)との産学連携があります。光触媒の第一人者・安部正一教授と都市ガス用光触媒の共同研究を2007年から開始しました。都市ガスの漏れを光触媒で防ぐという画期的な研究で、近々、大手都市ガス企業と一緒に世に出す体勢を整えている段階です。

こうした産学連携を可能にするのは研究開発に必要な資金力と信用です。特に、ベンチャー企業である我々にとっては、堺市産学共同研究開発支援補助金の事業認定を受けたことは大きな力となりました。大阪府大の場合は地元ですが、東京工大の場合には堺市とのプロジェクトということで快諾を得たとい



「これこそが道」と、事業化に燃える酒井 史郎社長



ナノ粒子配合型水性防錆塗料「美管」

う経緯があります。後から産学連携の資金でないと受け付けないこともあると聞きました。京葉ガス(株)に、本補助金を利用して、モニター塗装実験をお願いしましたが、極めてスムーズにデータ採取ができました。これも、公的機関のサポート支援、補助金支給のバックアップがあってこそであり、これらの公的支援は、当社の原動力に不可欠なものです。

当社の取引先は主に関東です。関東は概ね激しい競争にさらされているので仕事のスピード感が極めて早く、チャレンジ精神を失えば、すぐに置いていかれる市場です。失敗を恐れずに、失敗を肥やしにブラッシュアップする努力を怠っていません。いずれ全国の都市ガス企業においても、壮絶な競争が始まると予測しており、当社にとってはビジネスチャンスだと捉えています。まだスタートしたばかりの会社ですが、将来の上場を目標に意欲的に取り組んでいきたいと考えています。

会社概要

株式会社 コスモマテリアル
本社所在地: 堺市北区長曾根町 130-42 さかい新事業創造センター 222 号
設立: 平成 17 (2005) 年 1 月
代表者: 代表取締役 酒井 史郎
事業内容: ガス関連製品の販売
URL: <http://www.cosmomaterial.jp/>